



### 儲けを度外視した

## 東京三越の陳列會

#### 平町に二日間開く

八噸車に三台の商品を山積する爲めであると聞いては成程と肯けない筈はない

東洋第一の大デパートメン トストアードと斯ふ説明するだけ野暮な次第で全國津々浦々あまねく知られて居る東京の三越呉服店、此

**大商店** が来る廿六

七の兩日午前八時半から午後五時半迄平町の元郡會議事堂に於て特價品の陳列會を催す事になつた、品目は呉服太物を始め雜貨洋品食糧品等總べてが本店からの延長であるだけに何んでも御座れぬ山積振り八噸車に三台の商品が所狭き迄に飾り立て、

### 集配を減じ

#### 現業員を優遇

平郵便局に於ては前年の例に倣ひ現業員優遇の一端として暑中に於ける集配人員の軽減緩和を計る爲め来る廿日より九月十日迄の間市内は配達三號便(午後三時局出發の分)を市外集配二號便(午後零時廿十分局出發の分)を減便し尙ほ市内小包配達便を午前八時に早發し日中に於ける集配の緩和を計ることとなつた由にて右期間内市内は二回市外の好間、神谷、飯野高久、平窪各村間は一回宛の配達となる由

### 前景氣熾ん

#### 三縣庭球の

既報四倉海岸に新設したコート開きを兼ね同町元町青年義團主催に依つて廿一日午前八時から開かれる三縣聯合庭球大會は其後福島師範、原町警林署、石川中學校、茨城縣南中郷等他の各チームより参加申込續々と來り中通り方面からは大會前に練習する爲め約一週間位に練習する



家庭園

### 木綿物の色揚げ法

材料、鹽基性染料、タンニン酸、吐酒石

方法、色揚げする布地をタンニン酸の溶液中に三時間以上一夜浸けて置きます。

### 息子の折合悪し

## 萬歳樓で豪遊し

#### 列車を目がけて飛び込む

#### 兩足を断ち切る

石城郡神谷村向鎌田理髮業柴崎彌一郎(三)は長男八千代(三)との折合悪しき爲め歴世自殺せんと昨夜此世の名残りに鎌田遊廓萬歳樓にて豪遊夜半鎌田トネルにて暴進したる列車を目がけて飛び込み自殺を圖り兩足を断ち切る息なりしを線路工夫が発見其筋に急報した

### 爭議を想定に

#### 植田非常召集

石城郡植田警察署では十六日午前零時管内巡査の非常召集を行った川部村王城炭礦に労働爭議が起り暴動化したとの想定により同地に集會警戒網を張つたが成績良好で同七時勿來町演武場に引揚げ剣道試合をなす退散したが警察署の非常召集としては新しい試みであつた

### 公判で卒倒

#### 殺人未遂事件で

石城郡内郷村警城炭坑々夫菊池寅藏(三)は内縁の妻渡邊きん(三)が八巻長一(三)に寝返り打つた戀の恨みから去る三月二十六日郡山市高石町で斬り付け殺人未遂の公判は十六日午前十時半から福島地方裁判所法廷で開廷懲役二年の求刑あり判

### 兎の耳

郡池田村出身)は幼少の時父母に死判れ諸所を流浪してゐた爲め徴兵検査に應じなかつたが昨年偶然悔悟して受檢同隊に入營したものである君は責任觀念旺盛で軍務に精勵し同僚敬愛の的となり殊に入隊以來無學を耻ぢ餘暇を以て假名を學び又無用の外出を避け節約を旨とし貯金して郷里の妻子に送金する等模範兵として三十九歳で表彰された

### 特別戸數割の

## 納付成績頗る良し

#### 日毎に多きを加ふ

来る廿五日限り納付すべき平町に於ける昭和二年度特別戸數割は徵稅令書を交付した翌日即ち本月十二日納付人員八人にて廿圓五十四錢を筆頭に十三日より十六日迄納付人員五十九人、三百六十五圓四十四圓、又納稅組合は十一日に五組合にて五百四十五圓七十二錢、十二日より十六日迄十八組にて二千三百八十三圓六十八錢を納付し一日毎に納付人員の多きを加ふる状況に

### 小名濱視察

#### 新米で午餐會

茨城縣知事が  
中山茨城縣知事は眞船内務部長、岩崎土木課長、川庄技師、後藤官房主事と共に十八日午前十時泉驛を経て小名濱町に到着築港及警備水産工業株式會社の冷凍施設等を視察の上鈴木町長小野縣議其他有志の發起にかゝる新米の午餐會に臨み午

### 縣道へ編入を

#### 草野村が陳情

石城郡草野村大字馬目地内から大野村を経て双葉郡久之濱町に通ずる村道に移管もれとなつてゐたが、この村道は海岸に沿つてゐる國道に次で同地方で使用される道路で村道附近には天恵が豊で産業上將來有望な處であるとの理由を附し縣道編入の陳情書をこの程草野村長高岡唯一郎氏、外沿道各村長聯名の上縣に提出した由

### 稻の病害

#### 各所に發生

石城郡山田村の山田地内水稻に病蟲害發生し蔓延の兆あるので同郡駐在神尾技師並に大山郡農技師出張調査

### 御禮

前略、今回當區鎮座尼子稻荷神社及び北野天滿宮祭典に當り子供連奉仕の樽御與渡御に際しては種々御配慮を賜り且つ御祝儀を辱ふと難有御厚禮申上候子供連一同恙なく終了し頗る元氣に罷り在り候間乍他事御休心被下度此段乍略儀以紙上御禮申上候也

昭和二年七月拾九日

第一區々長 植頭 鶴松  
長橋青年分團長 川崎 文治